

ふりがな 氏名	まつら たかまさ	都道府県	東京都	
	<b>松浦 貴昌</b>			
所属/肩書	NPO 法人ブラストビート／代表理事			
私の ESD活動	中・高・大学生に学校内外で、多様な社会人と共に学びあい、深い繋がりの中で「自分らしく生きる力」を育む			

#### 活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

NPO 法人ブラストビートは、中・高・大学生と地域の多様な社会人とを繋げ、学びあいの中からお互いに成長しあい助けあう関係性を育む社会教育プログラムです。中学、高校の学内では、キャリア教育という文脈の中で社会人を講師として招き、ゲーム形式でイベント企画やポスターを制作、その中でチームワークや創造力、伝達力を磨き、「社会に出た後の自分らしさ」を考えてもらうきっかけの授業「イベプラ」を展開しています。（東京都教育庁「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」推薦）また、学校外のプログラムとしては、「音楽×起業×社会貢献でチャレンジする10代を育てる」ということをミッションに、高校生や大学生などの若者を対象に社会教育プログラムを運営しています。大きくはステップが3つあり、1. 高校生・大学生が10人前後で模擬会社を設立し、（登記はしません）2. 予算ゼロから自力で音楽ビジネスプランをつくり、3. 音楽イベントを成功させ、収益の25%以上をNPO・NGOなどの社会貢献活動に寄付するというプログラムです。ユニークなポイントは、ブラストビートでは“先生”ではなく、“メンター”という制度で運営しています。過去のプログラム経験者である学生メンターと社会人メンターがチーム（5人程度）となって、無償で高校生や若者達の会社を3ヶ月ほどサポートしていきます。メンターの動力源は“恩送り”とも言われる、自分が先輩や先人からもらった恩や学びを、次は自分が後輩や次の世代に送っていく、というものです。ですから、そういった善意の優しさが繋がっていけば、自然と広がり、活動も持続していくはずで、4年前より始まりましたこのプログラムも、2013年現在で延べ400名の参加者、メンター数は100名となりました。また、地域も関東圏以外に、宮城（石巻）、福島、愛知（豊橋）、京都、大阪、石川（金沢）、福岡、沖縄と広がってきています。

・NPO法人ブラストビート: <http://www.blastbeat.jp/>

・中学生・高校生向けキャリア教育プログラム「イベプラ」: <http://bb-career.jimdo.com/>

#### 今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

ESDの更なる発展のためには、日本の若者達が利害のしがらみや固定化された考え、リスクなどが少ないことを自覚し、臆することなくスピード感を持って様々なチャレンジをすることが重要だと思っております。また、活動を一団体に留めず、団体やセクターの枠を超え、協働を率先して推し進めていくことも若者ならではの突破力が発揮されるのではないかと思います。そして、最終的には、日本の若者のESDの実践が、世界のロールモデルになるべくその成果やプロセスを意識的に世界に発信していくことが大切だと考えます。日本には相互扶助の学びあい、助けあい、支えあう文化があります。その心に火を付けさえすれば、衣食住などの心配の少ない平和な時代に生まれた日本の若者だからこそ、競い合いや争いではなく、人の為、世界の為に貢献し、ESDの実践や世界との学びあいの連鎖を起こすポテンシャルがたくさんあると信じております。